



# 高速しが

平成27年  
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

## 梅雨期における交通事故防止

今年もまた梅雨の季節を迎えました。うっとうしい長雨の続く時期には、雨が原因の交通事故も増加する傾向にあります。運転には、いつも以上の目配り、気配りの気持ちを持って交通事故防止に努めてください。



### 雨の日の走り方

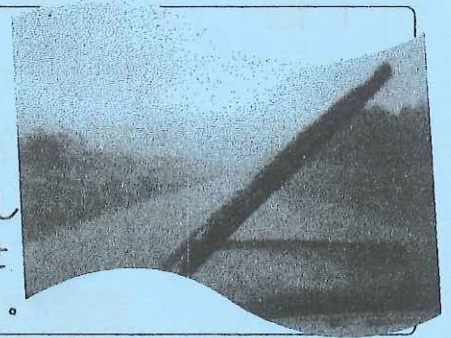
#### ① 雨のしずくにご用心

スタート前に注意したいのが雨の日に車内に持ち込まれる雨のしずく。特に乗り込むときに畳んだ傘や衣服についた雨のしずくは、運転席のフロアーやシートを濡らします。気にせずにスタートし、濡れた靴底でアクセルやブレーキペダルを踏むと思わず滑ってしまうことがあるので注意が必要です。できるだけ、雨のしずくが車内に入らないよう工夫する気配りをしましょう。



#### ② 視界不良にご注意

雨の日のドライブでうっとうしいのはウィンドウにあたる雨と油膜による視界不良です。日頃からウィンドウの汚れなどこまめに清掃しておきましょう。また、劣化したワイパーのゴムは、雨のしずくをいたずらににじませ視界不良の原因となるので、定期的な交換が必要です。



#### ③ 「急」な操作は厳禁

雨の降り始めの路面や、ワダチの水たまりは非常に滑りやすくハンドル操作が効かなくなることがあります。また、センターラインなどのペイントは水に濡れるとツルツルした表面となり、片輪が載るだけでも左右のバランスが崩れスピンしやすくなります。雨の日は、慌てて急ブレーキを踏んだり急ハンドルを切ることのないよう、速度を落として安全運転に心がけてください。



# 積み荷の落下に注意!

高速道路での積み荷の落下は後続車両の事故を誘発する危険な状況ですが、ロープ掛けが緩かったり、シートをかけていなかったり、という初歩的なミスによる事故が後を絶ちません。

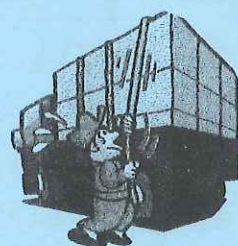
落下物は落とし主の責任です。

出発前の積み荷のチェックはもちろん、長距離運送するときには、休憩時以外にもSA、PAで必ず積み荷の再点検をしてください。



## ☆落下事故を起こさないためのポイント☆

- ◎積み荷をしっかりと固縛する
- ◎過積載や積載制限(長さ・幅)を絶対しない
- ◎急ハンドルや急ブレーキ操作をしない
- ◎SA、PAの休憩時には必ず積み荷のチェックをする



## 落下物ワースト3

(平成25年NEXCO調べ)

- 1位 プラスチック、ビニール、布類  
(毛布・シート類)
- 2位 自動車部品類(タイヤ、自動車付属品等)
- 3位 木材類(角材、ベニヤ等)

## 落下物を発見したら

高速道路走行中に落下物を発見したときは、道路緊急ダイヤル「#9910」または警察「110」で通報してください。

- ◎通報は、携帯電話、スマートフォンからも可能ですが、走行中は必ず同乗者の方が通報してください。
- ◎運転者のみの場合は、料金所の係員が最寄りのSA、PAから通報してください。